

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2009-279385(P2009-279385A)

【公開日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2008-297168(P2008-297168)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月14日(2011.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機前面部に設けられた貯留部に向けて遊技媒体を導く遊技媒体通路部と、当該遊技媒体通路部を通じて前記貯留部に向けて遊技媒体を払い出す払出実行手段と、前記遊技媒体通路部の途中位置に設定された媒体通過領域の遊技媒体の通過を検知する検知手段と、を備え、当該検知手段の検知結果に基づいて遊技媒体の払い出しが特定される遊技機において、

前記遊技媒体通路部における前記媒体通過領域よりも下流側の下流側領域を区画形成する区画部は、臨む方向に遊技媒体の流下方向の下流側に向けた成分を含むとともに、流下方向の下流側から上流側に向けて挿入された異物が当接した場合に当該異物を前記媒体通過領域側とは異なる側に向けてガイドするガイド面を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技機前面部に設けられた貯留部に向けて遊技媒体を導く遊技媒体通路部と、当該遊技媒体通路部を通じて前記貯留部に向けて遊技媒体を払い出す払出実行手段と、前記遊技媒体通路部の途中位置に設定された媒体通過領域の遊技媒体の通過を検知する検知手段と、を備え、当該検知手段の検知結果に基づいて遊技媒体の払い出しが特定される遊技機において、

前記遊技媒体通路部における前記媒体通過領域よりも下流側の下流側領域を区画形成する区画部には、臨む方向に遊技媒体の流下方向の下流側に向けた成分を含み、且つ遊技媒体が通過する側から外側に向けて形成されているとともに、遊技媒体が通過する側から外側に向かうほど遊技媒体の流下方向とは逆方向に向かうガイド面が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記ガイド面又は当該ガイド面に対してガイド先側において連続する連続面のうち少なくとも一方の面と、当該面と対向する対向面と、を含む各面により区画形成され、前記ガイド面よりも下流側の領域に対して連通された凹み空間をさらに備えていることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記凹み空間を区画形成する面は、向く方向に当該凹み空間の奥側に向けた成分を有する段差面を備えていることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記ガイド面は、遊技媒体の通過領域を区画する区画部に対して形成されているとともに、当該区画部により区画される通過領域内に入り込まないようにして形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記ガイド面は、遊技媒体の通過領域を区画する区画部において当該通過領域を臨む面に対して当該区画部の反対側に形成されており、

前記区画部において前記ガイド面に対してガイド先側にて連続する連続面は、前記ガイド面のガイド先側の端部よりも前記通過領域側に配置された偏倚箇所を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記連続面は、前記ガイド面との連続箇所側から前記偏倚箇所に向けて、前記区画部により区画された通過領域の外側から内側へと向かう段差面を備えていることを特徴とする請求項 6 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記遊技媒体通路部における前記媒体通過領域よりも下流側の下流側領域は、当該下流側領域を区画形成する区画部に遊技媒体通路部の外側に向けた段差部が設けられていることにより、通路幅が下流側に向けて第 1 の通路幅から第 2 の通路幅に拡張される領域を備えており、

前記ガイド面は、前記段差部において前記第 2 の通路幅の領域側を臨む面であるとともに、前記第 1 の通路幅の領域における前記第 2 の通路幅の領域に向けた出口の周縁部側からそれとは反対側に向かうほど遊技媒体の流下方向とは逆側に向かう面であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 に記載の遊技機。